

解答

- ① 調整 ② 推測 ③ 深刻 ④ 支障 ⑤ 建築 ⑥ 呼吸 ⑦ 特訓 ⑧ 誕生  
 ⑨ 備〔え〕 ⑩ 務〔める〕

㉓

問一 ア

問二 ウ

問三 エ

問四

欧米人は自己を他者や状況の影響を受けない一定不変のものと考えているが、日本人はそれを他者との関係性や周囲の状況によってさまざまに姿を変えるものと考えている。

問五 イ

問六 イ・エ

㉔

問一 ア

問二 エ

問三 A

問四 ア

問五 ウ

問六

入る・人づきあいが苦手なので大志の誘いを断ったが、ドラムをたたくのは好きだし、本当は友達や仲間がほしいと思っており、近づいてきてくれた大志に気持ちが動いているから。

解説

㉓

問四

少し後で、「日本人は：関係性としての自己を生きている。：相手との関係にに応じてさまざまに姿を変える。」が、欧米人の自己は、「相手との関係性に影響を受けない一定不変の自己」と述べられている部分に着目します。

㉔

問六

冒頭の説明に「学校の屋上で、ドラムをたたく練習をしているところを吹奏楽部の部長である大志に目撃され」たとあり、一人でも練習するほど志音がドラムが好きなのがわかります。また、大志に「気の合う奴ってのは、どんなに時間がかかっても自然と引き合うもんだって」という言葉に、強がっていても「確かに自分にもそう思っていたころがあった」とあり、さらに、「また来るよ」と去っていく大志が階段を下りていってしまう様子を気にしていること、大志にもらった卵焼きを「優しい優しいクリーム色」と感じていることなどで、大志の熱意に心が動かされていることが暗示されています。